

個別の教育支援計画

「個別の教育支援計画」

児童一人一人の実態を踏まえ、乳幼児期から学校卒業後までを一貫して的確な教育的支援を行うと共に、福祉、医療、心理、労働等の関係機関との密接な連携、協力に基づいた支援を行うための計画です。

氏名	
----	--

〈確認欄〉個別の教育支援計画の内容について確認しました。

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
保護者印						
学級担任印						
校長印						

個別の教育支援計画は、保護者との協力のもとに作成する。内容についての確認が終了した日の年月日を記入し、保護者、学級担任、校長が確認の押印をする。

氏名				性別		生年月日	平成 年 月 日
学校名	学年	知・自 通常	記入者	記入日	保護者氏名	住所	
	1年	知的障がい特別 支援学級(知)、 自閉症・情緒障 がい特別支援学 校(自)、通常の 学級(通)の別 に記入する。			連絡先		
	2年						
	3年						
	4年						
	5年						
	6年						
児童の状況 (診断名、慢性的な疾病、視覚・ 聴覚等に関する特記事項)		障がい名や診断名、慢性的な疾病について、受診機関・診断日等と併せて記入する。					
服薬	薬名 (H . . . ~)	服薬開始日も記入する。		発作	症状や頻度を記入する。		
取得している手帳	療育手帳	A	B-1	B-2	(認定日 (更新日 (認定日 (認定日	手帳の取得状況(判 定と認定日、更新日) について記入する。	
諸検査の 状況	検査名	実施日	検査者	結果			
	<ul style="list-style-type: none"> ・集団式知能検査の結果や、個別に行った心理検査(田中ビネーやWISCなど)の結果を記入する。 ・検査用紙や詳しい分析結果などがあれば、必ず添付しておく。 						
生育歴・療育歴 保育歴・教育歴		<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所等の在籍期間、専門機関での診断や相談の時期と内容を記入する。 ・市町村の就学指導委員会の判断についても、保護者の了解が得られれば記入する。 					

氏名

児童の実態 (○=学校・園、◇=家庭、地域)

	学習面	生活・行動面	対人関係面	その他・配慮事項
幼児期	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・保育所等からの指導要録・保育要録、個別の教育支援計画、引継書、保育者や保護者からの聞き取りを参考にして記入する。 ・特に、必要な配慮や効果的な支援については、具体的に記入する。 			
1年生	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の学習や行動に関する事で、指導や支援をする上で必要と思われる項目について、その実態や教育的ニーズを記入する。実態は、学校だけでなく、家庭や地域での様子についても記入し、学校における実態の前には○印を、家庭や地域における実態の前には◇印を付ける。 ・記入時点で問題がない項目については、問題がないことを記入する。 ・日々の活動記録ではなく、児童の全体像を具体的に書くようにする。 ・実態については、「～できない。」という表現は極力避け、「～が苦手である。」「～ができてつづある。」という書き方をしよう心掛ける。また、よいところや得意な面も取り上げ、長所を生かした支援が行えるようにする。 ・担任だけでなく、児童に関わる複数の教員や校内委員会の情報を基に記入するとよい。 			
2年生				
3年生				<p>身体面、健康面、その他の配慮事項等を記入する。</p>
4年生				
5年生				
6年生	<p>記入内容が増えた場合は、必要に応じてページ数を増やす。</p>			

氏名

(学年目標 ○=学校、◇=家庭、地域)

将来の生活 についての 願い	本人	<ul style="list-style-type: none"> • 将来の生活についての希望や願いについて記入する。 • 変更が生じた場合は、内容と変更日を書き加える。 		
	保護者			
中・長期目標 (小学校卒業まで)	学習	<ul style="list-style-type: none"> • (様式1-2) の児童の実態を受け、必要な項目について目標を立てる。 • 小学校卒業までという長期的な展望に立って立案し、変更や追加があった場合は、期日を添えて加筆する。 		
	生活・ 行動			
	対人			
学 年 目 標	1 年 生	学習	<ul style="list-style-type: none"> • 入学後に初めて立案する時は、できるだけ早い時期に特別支援教育コーディネーターらと共に、保護者と連絡を取り作成する。 • 上記の中・長期目標を受け、この1年間で達成可能と思われる目標を設定する。その際、学校における目標の前には○を、家庭や地域における目標の前には◇を付けて記入する。 • 子どもの実態を反映したものになるよう、保護者との意見交換を十分に行う。 • 学年末に保護者と共に評価を行い、次年度の学年目標について話し合う。 	
		生活・ 行動		
		対人		
	2 年 生	学習		
		生活・ 行動		
		対人		
	3 年 生	学習		
		生活・ 行動		
		対人		
	4 年 生	学習		
		生活・ 行動		
		対人		
	5 年 生	学習		
		生活・ 行動		
		対人		
	6 年 生	学習		記入内容が増えた場合は、必要に応じてページ数を増やす。
		生活・ 行動		
		対人		

氏名

	関係機関名	担当者・連絡先	支援内容	引継事項
現在の支援体制	<ul style="list-style-type: none"> ・診察、相談、各種訓練、リハビリ等に関わっている医療・福祉等、専門機関の情報を、その利用時期を含めて記入する。 ・関係機関からのアドバイスがあれば、支援内容の欄に記入する。 ・連絡先や担当者を明記しておくことで、相談や情報交換を行いやすくしておき、連携して支援に当たることを心掛けるようにする。 ・関係機関は、関わりがあった時点で加筆していく。 			

個別の指導計画

「個別の指導計画」

長期にわたる支援の方針等を示している「個別の教育支援計画」を、指導のために具現化した計画です。学年目標や短期目標を設定し、それぞれの目標達成に向けて、指導・支援の手立て等を児童生徒一人一人の実情に応じて、具体的に計画していきます。

作成した個別の指導計画に基づいて、学校全体で組織的に指導・支援に取り組めるよう、校内で共通理解を図り、支援体制を整えるようにする。

氏 名	
-----	--

平成 年度

氏名		性別	作成日	平成 年 月 日
学校名		学年	担任名	
学年目標	学習	(様式1-3)の学年目標の、学校における目標(前に○がついているもの)を転記する。		
	生活・行動			
	対人			
前期		短期目標	手立て・留意点	変容・評価
	学習面	<ul style="list-style-type: none"> • 学年目標を達成するための下位目標を児童の実態に合わせて具体的な姿で設定する。 • 客観的に評価できる目標が望ましいため、「進んで」「きちんと」などの表現は避けるようにする。 • 学習面については、必要な教科について設定する。 		
	生活・行動面	<ul style="list-style-type: none"> • 目標を達成するための手立てを細かく記入する。 • 変更点があれば、その都度加筆修正する。 	<ul style="list-style-type: none"> • 目標に対する具体的な変容を客観的に評価し、記入する。 • 担任だけでなく、児童に関わる複数の教員や、校内委員会の情報を基に評価するようにする。 	
	対人関係面	<p>前・後期、学期毎等、期間については、児童の実態や学校の実情に応じて分ける。</p> <p>記入内容が増えた場合は、必要に応じてページ数を増やす。</p>		

		短期目標	手立て・留意点	変容・評価
後 期	学習面			
	生活・行動面			
	対人関係面			
校内支援体制		<ul style="list-style-type: none"> ・交流及び共同学習を含めた、校内における児童の支援体制について記入する。 ・校内委員会や就学指導委員会での協議内容や教育相談の内容も記入する。 		
本 年 度 の ま と め	関係機関との連携	関係機関との連携や、情報交換の内容等を記入する。		
	学年目標に対する評価	学年目標がどの程度達成されたかを記入する。		
	次年度への引継事項及び課題	継続して行う支援や、再検討する事柄について、保護者や支援する教員同士の確認も取りながらまとめる。		

No. ()

氏名

月 日	記録・特記事項など
	<div data-bbox="491 526 1273 678" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"><ul style="list-style-type: none">• 記録や特記事項の記入欄として活用する。• 記入内容が増えた場合は、必要に応じてページ数を増やす。</div>